



**若年女性の市外流出  
対策と方向性は**  
宮崎 朋子（つなぐ）



**Q** 若年女性流出の対策と方向性を聞きたい。

**A** 令和4年以降、15歳から24歳までの年齢層では毎年300人前後の転出超過が続いている。

今後、女性や若者の声を集め、リスキング機会の提供など総合的な対策を着実に講じていく。

**Q** 県や近隣自治体との連携や取組はどうか。

**A** 情報共有や意見交換を行っていく。

**Q** 若年女性を取り巻く性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込みや偏見）の解消のためどう取り組んでいるか。

**A** 市民向けの講座やパネル展など女性が活躍できる社会に向けた取組を行い、その結果「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に「反対、どちらかといえば反対」と回答した割合は、平成14年の39・9%から、令和3年は67・2%に増加した。今後も、誰もが能力を發揮しやすい環境づくりに向けて取り組んでいく。

**大雪時の高齢者等への支援をもっと手厚く**

**Q** 要介護世帯除雪費助成制度の対象とならなかった高齢者は、自分で除雪せざるを得ず大変苦勞していると聞く。対象要件等の拡充を含め、制度のあり方を検討すべきと考えられているか。

**A** 大雪に関する困り感などを把握する中で、市民に寄り添った支援の在り方を検討していく。



**上越地域医療センター  
病院改築の方向性は**  
江口 修一（久比岐野）



**Q** センター病院の改築は拙速に進めるべきではないと考えるがどうか。

**A** 地域医療構想の議論を見極めつつ、改築を進める。

**Q** 財政計画等との整合性を十分確保できるのか。

**A** 収支改善と事業費縮減で財政負担の軽減を図る。

**Q** 収支改善と事業費縮減で財政負担の軽減を図る。

**公の施設削減の優先順位は**

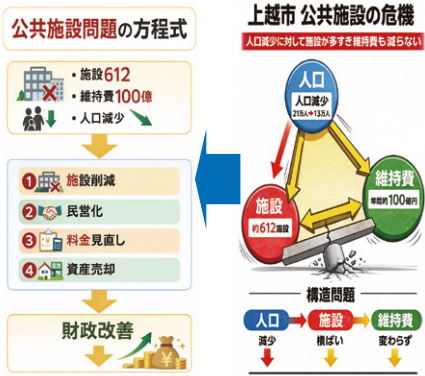
**Q** 人口減少が進む中、612ある施設を削減する優先順位はどうか。

**A** 施設集約や適正配置の取組により持続可能な運営を進める。

**Q** 赤字が続く単年度収支の改善策を聞きたい。

**赤字が続く単年度収支の改善策を聞きたい。**

**A** 確実な歳入確保と歳出抑制により、持続可能な財政運営を図る。



病院の役割そのものを否定はしていない  
上越市の人口は30年後5万人減少する  
再編後の施設規模は  
医師・看護師の確保は



**感震ブレイカーの普及  
促進に向けた取組を**  
山田 忠晴（公明党）



**Q** 市内の住宅における感震ブレイカーの設置について、市民への周知啓発をどのように考えているか。他自治体では、感震ブレイカー設置に対する補助制度が広がっているが、当市でも導入を検討しているか。

**A** 上越地域消防局と連携して、防災イベントでの感震ブレイカーのデモ機の展示や、チューブ等のSNSを活用した周知、更には住宅連たん地区での防火座談会の開催を通じて、感震ブレイカーの仕組みや有効性を説明するなど、普及啓発に取り組んでいる。引き続き、国や県の動向を踏まえつつ、高齢者世帯や要配慮者世帯への支援も含め、補助制度の必要性やあり方について研究していく。

**RSウイルス感染症の定期接種の対応は**

**Q** 国が進めるワクチンの定期接種化について、市民への周知といった接種体制の準備状況について聞きたい。

**A** RSウイルスワクチンの定期接種を希望される方が、時期を逸することなく接種できるように、母子健康手帳の交付に合わせて接種勧奨を行うほか、既に手帳をお持ちの方には、順次、勧奨通知を送付するなど、様々な機会を捉え、周知に取り組んでいく。

